

2023年度 名古屋造形大学

## 【前期】一般選抜 『国語』 問題用紙

### 【注 意 事 項】

※ 解答はすべて解答用紙の解答欄に記入しなさい。

□ 次の記事を読んで、後の設問(問一～問七)に答えなさい。解答はすべて解答欄に記入しなさい。

月明かりの柔らかい夜だった。

仕事帰りのバーでビールを飲んでいたら、<sup>A</sup>とりの女性が遠慮がちに話しかけてきた。

「このお店、よく来られるんですか？ 私は初めてなんです」

決まり文句のような台詞ではあつたけれど、遠慮がちに潜めた声には、<sup>(a)</sup>「テイネイ」に対応したくなる魅力が滲んでいた。きちんとした会社員風の服装とはウラハラに、<sup>(b)</sup>□ I 少女のまま成長が止まったような顔立ちにもひきつけられた。

「はい。最初は同僚に連れられて。最近はそいつが結婚したので、もっぱら一人で」

「そうですか。私、<sup>(c)</sup>□ II 一人でバーに来たのも初めてなんです。すぐどこきどきして、馬鹿みたいかもしれないけど、<sup>B</sup>ひさしぶりに勇気を出してみたの」

「女の人はそうだと思います。ちつとも馬鹿みたいじゃないですよ」

僕が言うと、彼女はようやくほっとしたように笑顔を見せた。

話が合い、気付けば明け方近くなっていた。

「明日、水族館に行こうと思ってるんです」

彼女がふと言った。僕が、平日に一人でですか、と訝しむと、彼女は恥ずかしそうに頷いた。

涼しげな瞳に、妙な懐かしさを覚えて胸がざわつき、柄にもない台詞を口にしていった。

「歩くと駅からちよつとある。<sup>(d)</sup>グウゼン」<sup>(e)</sup>だけど明日半休を取ってるから、良かったら車で送りましょうか」  
会社のビルを出ると、夏が始まったばかりの空が広がっていた。

駅前で待っていた彼女は、車に乗り込みながら、片手の袋を見せた。

「待ってる間に駅の中をぶらついてて。もしお腹が空いたら、サンドウィッチとアイスコーヒー」

いいね、と僕は答えた。大人の遠足だ。

助手席に座っている彼女を意識して、いつもよりもゆつくりめに運転した。それが気詰まりな感じでなく、考えてみれば前日に酒の勢いで打ち解けただけなのに、<sup>(f)</sup>□ III 馴染むのが早くて内心驚いていた。

街を抜け、海沿いの国道を走っていたとき、彼女が訊いた。

「半休、本当は何に使うはずだったの？」

「入院した母親の見舞いに」

と僕は正直に答えた。

「子供の頃に、僕を置いて出て行って。昔はたまに会ってたけど、成人してからは全然」

「行かなくていいの？」

「僕も気が重かったし、正直、<sup>(g)</sup>□ IV 来てほしいなんて言われても」

と言いかけて視線を向けると、<sup>(h)</sup>彼女はもう安らかな寝息をたてていた。無防備すぎるよ、と苦笑しつつも、妙に暖かい気持ちになった。

国道はがらがらで、エリック・クラプトンの静かな歌声が水平線に溶けた。

平日の水族館はゆつたりとした時が流れていた。ほの暗い館内に青い光が揺れている。

巨大な水槽の前で足が止まった。

水の中で、二頭のイルカがくるくると踊るように泳いでいた。

彼女は長い睫を揺らして、イルカに見とれていた。

「私、あなたとここに来るのが夢だった」

突然、彼女が振り返って、強い眼差しを向けた。

その一言で、記憶が開いた。

中学二年の秋、クラス的女子から理科室に呼び出された。なにかと思ったら、翌週の遠足で水族館に行ったときに一緒にまわってほしいと頼まれた。

ああ、とだけ答えたけど、内心はわりと綺麗な子だと思ってたから、かなりドウヨウ<sup>(d)</sup>していた。

「でも君が来られなかったんだ。そのまま休みがちになって、いつの間にか転校してて」

「もともと入院することになったの。大きい手術の前に勇気を出したんだけど、結局、遠足前日に高熱を出して」

イルカが勢い良くおびれを翻す。細かなキホウ<sup>(e)</sup>が美しかった。

「入院中、ずっと水族館のことを思い出していた。病室の窓から見える空が水槽みたいに青くて」

「元気になって良かった」

と僕は心から告げた。

「お見舞い、行ってあげて。ああいう場所では、自分の心を見つめるしかないから。今ならお母さん、あなたに言いたいことがたくさんあると思う」<sup>(d)</sup>  
包み込むような言葉に、僕はようやく許された気がして頷いた。<sup>(e)</sup>

水族館を出ると、急に視界が明るくなった。

海に見える公園で、僕らは塩気の効いたスモークハムのサンドウィッチと薄まったアイスコーヒーを食した。

長い長い空白を埋めるように、V時間をかけて。

(島本理生 『週末は彼女たちのもの』による。)

問一 傍線(a)「テイネイ」(b)「ウラハラ」(c)「グウゼン」(d)「ドウヨウ」(e)「キホウ」を漢字に直しなさい。

問二 空欄 I く V に入る最も適当な語句を左の中から一つずつ選び、番号で答えなさい(番号は重複できない)。

1. あまりに
2. じつは
3. 今さら
4. ゆっくりと
5. ほとんどなく

問三 傍線A「となりの女性が遠慮がちに話しかけてきた。」について、(x)それほど積極的には見えない女性がなぜ自分から主人公に話しかけてきたのか。また、(y)それはどこでわかるのか。それぞれ説明しなさい。

問四 傍線B「ひさしぶりに勇気を出してみたの」について、この女性が前に勇気を出したのはいつだったのか。もっとも適当な部分を六文字以内でそのまま抜き出して答えなさい。

問五 傍線C「彼女はもう安らかな寝息をたてていた。」について、なぜこの女性は車の中で寝息をたてていたのか。簡明に説明しなさい。

問六

傍線D「今ならお母さん、あなたに言いたいことがたくさんある」について、なぜこの女性は主人公の母親が主人公に言いたいことがたくさんあると言ったのか。簡潔に説明しなさい。

問七

傍線E「僕はようやく許された気がして頷いた。」について、主人公はどのようなことが許されなかったか。説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の設問(問一～問七)に答えなさい。解答はすべて解答欄に記入しなさい。

三年ほど前、福岡県に住む男性が福岡女子大に入学願書を提出した。栄養士の資格をとりたいが私大に行く余裕がないので、県内でその資格をとれる唯一の国公立大、福岡女子大に出願したのだった。無論、入学願書は受理されなかった。彼は「法の下での平等をうたう憲法十四条に反する」と違憲の訴えをおこした。翌年、福岡地裁で公判が開かれた。大学側は「女子のリーダーを育成するには人工的に女子のみの教育環境を作り出す必要がある」と主張した。勝ち目がないと思ったのかしばらくして彼は訴えを取り下げた。

私のいたお茶の水女子大学に対しても、数年に一度、「税金で運営されている国立大が男子を入れないのは違憲ではないのか」という質問が国会で出た。それが大学で問題となった時、図書館長として評議会に出席していた私はこう言った。「我が大学は明治七年に東京女子師範学校として昭憲皇太后により創立されて以来、ずっと女子教育を行ってきた。この伝統は憲法で云々すべきものではない。そもそも差別ではなく区別であり、我が大学最大の個性なのだ」。皆が深くうなずいた。

調子に乗った私は付け加えた。「私が晴れて女風呂に入れる日までお茶大には男子を入れない」。数秒ほどシーンとして、話題が変えられた。A  
昨年の衆議院選挙後、東京十三区の有権者数は鳥取一区の二倍なのに、定員がともに一名というのは違憲ではないか、との訴訟<sup>B</sup>がおきた。一票の値打ちが不平等<sup>B</sup>というのだ。今年になって名古屋高裁が「違憲状態」と判断した。このまま放置すると違憲とする、という意味だ。

憲法とはその国の最高法規であるから、すべての法律や条令はそれに従わなくてはならない。根本的問題は、憲法が言葉で書かれているため、意味があいまい<sup>C</sup>ということだ。例えば平等とは何か。誰も定義を述べることができない。

東京都の有権者数は鳥取県の二十倍だから、国会議員の定数も二十倍でいいのか。それでは都道府県の平等は保たれず東京中心がさらに進んでしまう。平等が不平等を生むのだ。それを憂慮<sup>C</sup>してアメリカの上院議員は人口にかかわらず各州二名と定められている。

大学入試選抜でも、点数で足切りするのが公平と日本では考えられている。ケンブリッジ大学の入試に携ったことがあるが、地方公立高校の<sup>D</sup>

生徒は、有名パブリック・スクールの生徒より多少点数が下でも合格させる、などということがあった。すぐれた教師や設備の揃ったエリート校に比べ、はるかに劣った環境の中でそれだけの点を取った、という潜在能力の高さに期待したのである。平等、公平、学力……、何をとつても定義はあいまいだ。どこから見るかで決まる。

憲法を頂点に法体系が広がるというのは、公理があつてそこからあらゆる定理が導かれる、というユークリッド幾何学に範をとつたものだろう。論理的に整然として美しいからだ。ただ数学の場合は、点や線の定義から始まるが、通常言語で書かれる憲法はそうはいかないから、完璧なものにはなり得ない。スタート点となる定義が曖昧なら、そこから厳密に論理的に進んでも、万人の納得する結論には到達しないのだ。

よくある違憲論争とは字句解釈論争、すなわちワードゲームと言つてよい。憲法との整合性を保つため立法や法改正には時間が非常にかかる。どう考えても必要な自衛隊が、現行憲法ではどう考えても違憲、という状態を半世紀も議論してどうにもならないほどだ。だから我々は極力法改正を避け、法解釈や行政指導などで切り抜けてきた。

自衛隊の存在と活動はほとんど法解釈という名の国家的欺瞞の結果なのだ。いつそイギリスのように、成文憲法なしで、山ほどある法律や公序良俗、良識などに基づいて物事を解決して行けばよいのではないか。論理的にガチガチ進むより日本人に向いている。

十七条憲法の「和をもって貴しと為す」を国の精神とし、あとはイギリスのように進めばよい。不毛なワードゲームがなくなるし、「違憲」と鬼の首を取つたように言い募る人もいなくなる。

(藤原正彦『管見妄語 失われた美風』による。)

問一 傍線(a)「唯一」(b)「訴訟」(c)「憂慮」(d)「完璧」(e)「欺瞞」の読みをひらがなで書きなさい。

問二 次のア～オにある傍線ア「たい」イ「のみ」ウ「べき」エ「られ」オ「れる」について、文法的意味として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。(番号は重複できない)。

- ア. 栄養士の資格をとりたいが
- イ. 人工的に女子のみの教育環境を
- ウ. この伝統は憲法で云々すべきものではない。
- エ. 上院議員は人口にかかわらず各州二名と定められている。
- オ. 公理があつてそこからあらゆる定理が導かれる、

- 1. 当然
- 2. 希望
- 3. 自発
- 4. 限定
- 5. 受身

問三 傍線A「数秒ほどシーンとして、話題が変えられた。」について、筆者はなぜ話題が変えられたというのか。説明しなさい。

問四 傍線B「一票の値打ちが不平等」について、衆議院選挙において、一票の値打ちが不平等とされ、違憲状態なのにすぐに改善されないのはどのようなことによるのか。最も適当な部分を十文字以内でそのまま抜き出して答えなさい。

**問五** 傍線C「根本的問題は、憲法が言葉で書かれているため、意味があいまい」について、筆者は日本ではどのように対処しているのか。最も適当な部分を八文字以内でそのまま抜き出して答えなさい。

**問六** 傍線D「地方公立高校の生徒は、有名パブリック・スクールの生徒より多少点数が下でも合格させる」について、筆者は点数が下でも合格させたのはどのようなことによるのか。最も適当な部分を十文字以内でそのまま抜き出して答えなさい。

**問七** 傍線E「不毛なワードゲーム」について、筆者はなぜ不毛なワードゲームになってしまうのか。最も適当な部分を十六文字以内でそのまま抜き出して答えなさい。

**三** 次の近現代文学作品(A～C)の作者は誰か。後の語群よりそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい(番号は重複できない)。解答はすべて解答欄に記入しなさい。

- ア. 破戒      イ. たけくらべ      ウ. 雁      エ. 雪国      オ. 斜陽  
カ. 三四郎      キ. 一握の砂      ク. 浮雲      ケ. 羅生門      コ. みだれ髪

〔語群〕

1. 石川啄木      2. 川端康成      3. 夏目漱石      4. 島崎藤村      5. 二葉亭四迷  
6. 樋口一葉      7. 与謝野晶子      8. 太宰治      9. 森鷗外      10. 芥川龍之介

【前期】一般選抜 『国語』 答案

問一 (10) 2×5	問二 (15) 3×5	問三 (8) 4×2	問四 (4)	問五 (4)	問六 (4)	問七 (5)
(a)	I	(y)	中学二年の秋	この女性は主人公の車に同乗して緊張もしたし、主人公と会って安心もしたから。	自分が大手術で入院したことがあり、主人公の母親の気持ちがよくわかったから。	主人公は子供の頃に自分を置いて出て行った母と成人してからは全然会っていないかったこと。
丁寧	5	(x)				
(b)	II					
裏腹	2					
(c)	III					
偶然	1					
(d)	IV					
動揺	3					
(e)	V					
気泡	4					

問一 (10) 2×5	問二 (10) 2×5	問三 (4)	問四 (4)	問五 (4)	問六 (4)	問七 (4)
(a)	ア	男性が女風呂に入ることを話題にするのは、不適切な発言だから。	平等	法解	潜在	万
ゆいいつ	2		が	釈	在	人
(b)	イ		不平	や	能	の
そしょう	4		等を	行	力の	納
(c)	ウ		を生	政	の高	得
ゆうりよ	1		む	指導	さに	す
(d)	エ				期待	る
かんぺき	5					結
(e)	オ					論
ぎまん	3					に
			こと		は	
					到	
					達	
					し	

カ	ア	1×10 (10)
3	4	
キ	イ	
1	6	
ク	ウ	
5	9	
ケ	エ	
10	2	
コ	オ	
7	8	